

■ちーびし

○執筆者紹介

- ①生年・出身地、②所属、③専門領域、
④研究業績、⑤奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

■山田 誠 (やまだ まこと)

- ① 1946年・香川県
② 鹿児島大学法文学部経済情報学科地域計画講座
教授・全学プロジェクト「奄美の『島』コスモ
ス創出事業」代表
③ 経済政策、地方財政、地域政策比較
⑤ 鹿児島大学プロジェクト「島嶼圏開発のグラン
ドデザイン」の研究代表者として、編著『奄美
の多層圏域と離島政策』九州大学出版会(2005
年)を刊行した。

■東 英寿 (ひがし ひでとし)

- ① 1960年・福岡県
② 鹿児島大学法文学部人文学科日本アジア総合文
化講座教授
③ 中国文学、日本漢学
④ 『復古與創新』(上海古籍出版社、2005年)
『歐陽脩古文研究』(汲古書院、2003年)
『薩摩藩所蔵の漢籍に関する総合的研究 研究
成果報告書』(平成7年度～平成9年度科学研
究費補助金・基盤研究(B)(2)研究代表者、1998
年)

■北崎 浩嗣 (きたざき こうじ)

- ① 1960年・佐賀県
② 鹿児島大学法文学部経済情報学科地域計画講座
教授
③ 地域計画論、農業政策論
④ 「綾町におけるJAS法改正後の有機認証と総合
基金制度」『経済学論集』鹿児島大学経済学会、
第56号、2002年
「鹿児島の生協とスーパーにおける有機・特別

栽培農産物の流通動向」『経済学論集』鹿児島
大学経済学会、第57号、2002年

「並行在来線先発地域との比較検討からみた肥
薩“おれんじ鉄道”」『経済学論集』鹿児島大学
経済学会、第59号、2003年

■花井 恒三 (はない こうぞう)

- ① 1947年・鹿児島県
② 奄美市企画部長・前奄美群島広域事務組合事務
局長
⑤ <http://www.amami.or.jp> (広域行政),
<http://www.minc.ne.jp/amami/> (奄美群島観光
連盟・奄美群島体験交流観光プログラム・奄美
群島特産品カタログ)
<http://www.15.synapse/ne/jp/amamifukki/> (奄
美群島日本復帰50周年)

■財部 めぐみ (たからべ めぐみ)

- ① 1975年・鹿児島県
② 鹿児島大学大学院人文社会科学科博士前期
課程人間環境文化論専攻1年、奄美サテライト
教室受講生
③ 基層文化論、比較宗教学

○編集後記

■ 本号表紙の写真は、前号に引き続き沖永良部の前利潔（知名町役場）さんからご提供いただいた[33年忌祭]の様子です。以下は、前利さんによるこの行事についての解説です。

[33年忌祭]

沖永良部島は奄美諸島の中でも祖先崇拝にかかわる行事が盛んなところである。沖永良部島の中でも私が住む知名町瀬利覚集落では、33年忌祭、墓正月(1月16日)、墓盆(8月15日)が盛大に行われる。

4月23日、前日の夕刻に墓から霊を迎えていた福山利明家で33年忌祭がとりおこなわれた。福山さんは現在、33年忌祭のジューテ（地謡）を務めることができる唯一の方でもある。ジューテは三味線、歌い手、司会役を一人で言い、儀礼を進行させる重要な役割を担っている。33年忌祭は「これを最後に死者はこの世の人と関係を絶つ、天に上げる、神になる祝いだ」とされている。

朝食・昼食膳が供えられたあと、午後3時頃、宴の中心となるシューキジン（ご馳走膳）が出される。ジューテが祭壇に向って《御膳風》のフシで、故人に歌い掛け、宴が始まる。《御膳風》は、沖永良部島では《ふくらしゃ》とも呼ばれる。

アシジヌ（午後膳）という宴の最後に配り直される膳が終わると、ウンジャク（送り）が始まる。ジューテが祭壇に向ってあいさつをしたあと、座敷で踊りが披露される。踊りのあと家を出て、《念仏》を歌い踊りながら、墓に向う道行が行われる。供物を先頭に、ジューテ、踊り手の女性、紅白の旗をつけた竹竿を持つ二列の男性、そのあとに参列者が続く（表紙右写真）。墓地に着くと、墓前で踊り（表紙左写真）が行われたあと、故人に線香を供え、最後の別れとなる。

中世の頃、日本本土から遊行系の念仏者であるチョンダラー（京太郎）が沖縄に渡り、各地にその足跡が残されている。沖永良部島の33年忌祭の「道行」にみられるチョンダラーの足跡は、琉球弧の他の島々には例がないという。

私も何度か33年忌祭に参列したことがある。沖縄のエイサーを見たときに不思議に思ったのは、33年忌祭の念仏歌と、エイサーの歌がそっくりだったことである。沖永良部島の33年忌祭に詳しい酒井正子・川村学園女子大学教授によると、大正時代に沖縄の首里で採録された念仏歌《エイサー節》と、沖永良部島の《念仏》は三味線の細部まで一致するという。沖永良部島の33年忌祭の《念仏》は、現在の沖縄のエイサーの原型を残しているかもしれない。

知名町役場 前利 潔

参考文献：酒井正子著『奄美歌掛けのディアログ～あそび・ウワサ・死～』（1996年）

■ 編集委員会ではニューズレターの表紙に掲載する写真を募集しております。奄美の自然や行事等に関する写真をご提供頂ける方がいらっしゃいましたら編集担当の山本までお知らせ下さい。
(編集担当、山本)

研究責任者 木部暢子

奄美ニューズレター

発行 鹿児島大学

編集責任者 奄美委員会

AMAMI News Letter

発行日 2006年9月30日